

十勝岳

○概況

2004 年 2 月 25 日 21 時 07 分頃から振幅のきわめて小さな火山性微動が観測されています。微動発生直後から 62-2 火口の噴煙が有色に変わり、噴煙に火山灰が混じった状態となりました。噴煙の高さは火口上 200～300 メートル程度で、微動発生前に比べて特に変化はありません。また、空振計にも特に強い噴出を示す振動は観測されていません。

今回の現象はごく小規模で今後も繰り返される可能性はありますが、地震活動や地殻変動には特に変化が見られないことから、現時点では特段の防災対応を取る必要ないと思われます。

気象台では注意深く監視を続けています。今後、火山活動が活発化した場合は火山情報でお知らせします。

○微動活動の状況

62-2 火口の北西約 1.2km 地点の H 点に設置してある気象庁の地震計で、25 日 21 時 07 分から振幅の小さな火山性微動が観測されています（図 1、観測点配置は図 4）。H 点で観測された微動の最大振幅は約 0.1 マイクロメートルで、2003 年 2 月 8 日に観測された微動の 4 分の 1 程度です。微動の振幅は時間の経過とともに徐々に小さくなる傾向にありますが、26 日 10 時現在も継続しています。微動は 62-2 火口近傍に設置してあるグラウンド火口南観測点で振幅が大きく（H 点の 3 倍程度）、山麓に設置してある A 点（62-2 火口から北西約 4.5km 地点）ではほとんど認められていないことから（図 2）、発生源は 62-2 火口直下の浅いところと推定されます。

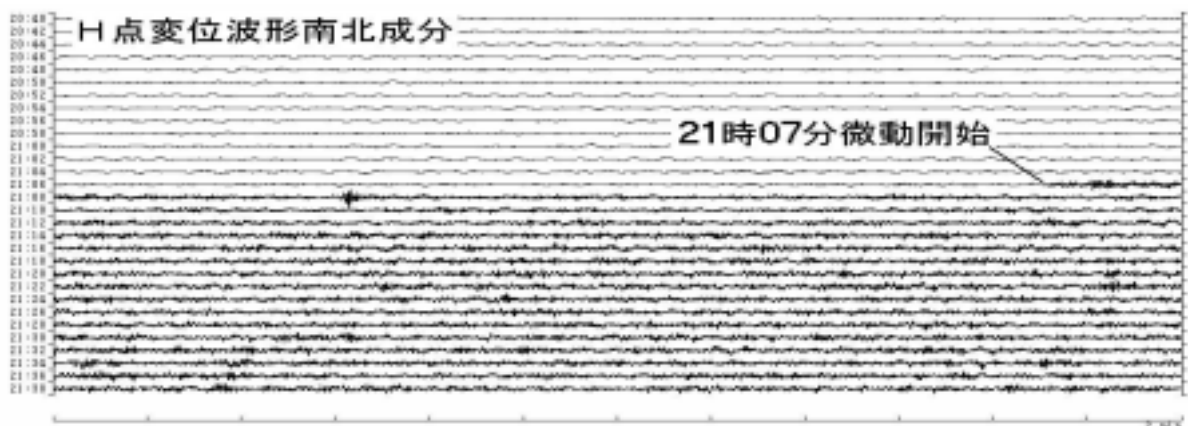


図1 H点の地震波形（2004 年 2 月 25 日 20 時 40 分～21 時 40 分）

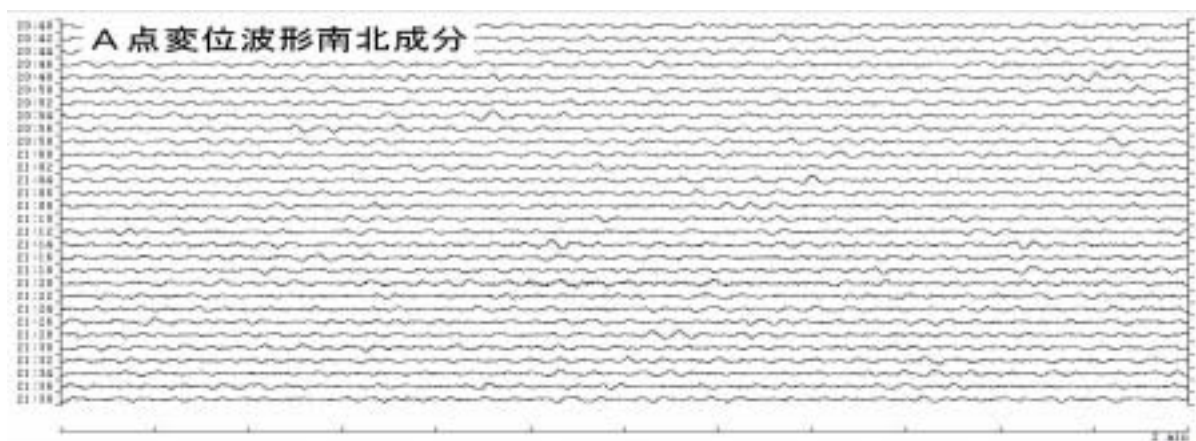


図2 A点の地震波形（2004 年 2 月 25 日 20 時 40 分～21 時 40 分）

○噴煙活動の状況

微動発生直前までの 62-2 火口の噴煙は白色で、高さは火口上 200～300 メートルで推移していました（写真 1）。微動発生直後から噴煙は次第に有色に変わり、火山灰混じりの状態になったと推定されます（写真 2）。有色噴煙の高さは 200～300 メートル程度で東へ流されていますが、それ以前の状態に比べて特に噴出が強まった様子はありません。H 点に設置してある空振計では、有色噴煙が観測されている時間帯に特に強い噴出を示す振動は観測されていません。

噴煙はその後も有色の状態が続いていましたが、26 日 01 時すぎからは悪天のため確認できなくなりました。



写真 1 微動発生前の 62-2 火口噴煙の状況（2004 年 2 月 25 日 20 時 28 分頃）



写真 2 微動発生中の 62-2 火口噴煙の状況（2004 年 2 月 25 日 22 時 18 分頃）

○地震活動の状況

微動発生の前後で火山性地震の増加は見られません。62-2 火口に近いH点および山麓のA点で観測された火山性地震および火山性微動の発生状況を表 1、表 2 に示します（2004 年 2 月の地震回数は 25 日までの回数です）。

表 1 火山性地震および火山性微動の月別回数（2003 年 2 月～2004 年 2 月）

2003～2004 年	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月
地震回数H点	58	41	44	60	24	35	26	106	62	36	36	41	16
地震回数A点	16	9	18	14	9	9	5	40	16	9	12	7	5
微動回数H点	2	0	1	2	2	0	0	0	0	0	0	0	1

表 2 火山性微動の発生状況（2000 年 1 月以降、H点での観測結果）

発生年月日	最大振幅	継続時間
2000 年 1 月 1 日	0.10 マイクロメートル	17 分 43 秒
2002 年 1 月 4 日	0.13 マイクロメートル	2 分 11 秒
2002 年 3 月 7 日	0.09 マイクロメートル	4 分 26 秒
2002 年 5 月 7 日	0.16 マイクロメートル	1 分 0 秒
2002 年 9 月 22 日	0.15 マイクロメートル	1 分 58 秒
2003 年 2 月 8 日	0.36 マイクロメートル	37 分 0 秒
2003 年 2 月 25 日	0.10 マイクロメートル	20 分 37 秒
2003 年 4 月 27 日	0.10 マイクロメートル	20 分 8 秒
2003 年 5 月 19 日	0.15 マイクロメートル	10 分 8 秒
2003 年 5 月 24 日	0.09 マイクロメートル	3 分 30 秒
2003 年 6 月 1 日	0.09 マイクロメートル	4 分 0 秒
2003 年 6 月 15 日	0.13 マイクロメートル	0 分 59 秒
2004 年 2 月 25 日	0.10 マイクロメートル	継続中

○地殻変動の状況

気象庁の G P S 観測では、地殻変動に特段の変化は認められません。

○最近の火山活動経過

図 3 に最近の火山活動経過を示します。2003 年 2 月 8 日にH点で最大振幅 0.4 マイクロメートルの火山性微動が発生し、その後も 6 月まで振幅の小さな火山性微動が数回観測されました。62-2 火口の噴煙活動は活発な状態が続いており、火口温度も 300℃以上の高温を維持していることから、火山活動はやや活発な状態が続いていると考えられます。

○最近の火山情報発表状況

表 3 2000 年以降の十勝岳に関する火山情報の発表状況（定期火山情報を除く）

発表日時	情報番号	内容
2003 年 2 月 8 日 08 時 35 分	臨時火山情報第 1 号	火山性微動発生
2003 年 2 月 8 日 10 時 00 分	火山観測情報第 1 号	その後の状況
2003 年 2 月 8 日 13 時 20 分	火山観測情報第 2 号	上空からの観測結果
2003 年 2 月 8 日 15 時 20 分	火山観測情報第 3 号	その後の状況
2004 年 2 月 26 日 10 時 30 分	火山観測情報第 1 号	火山性微動発生、有色噴煙

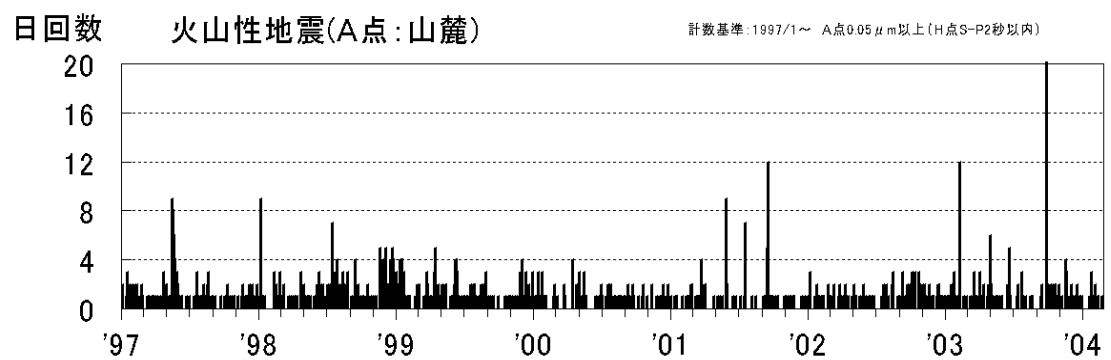
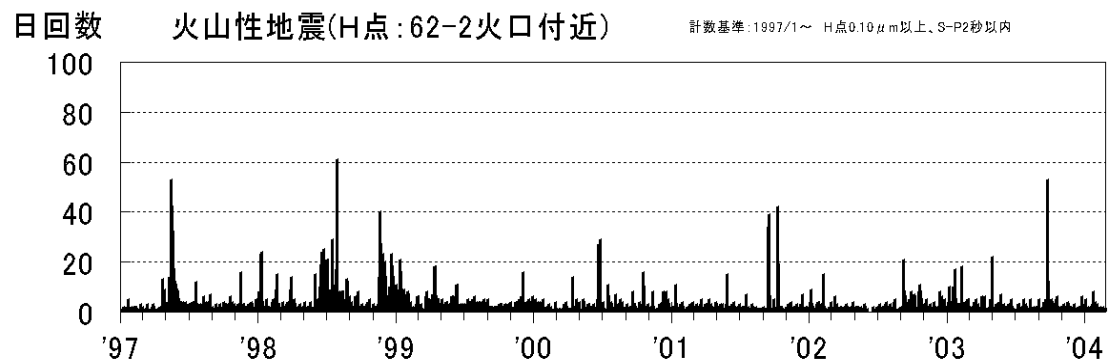
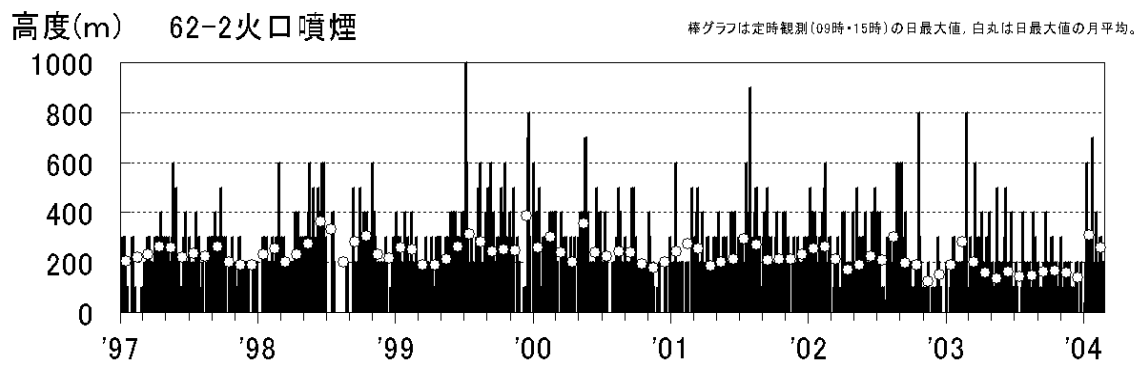
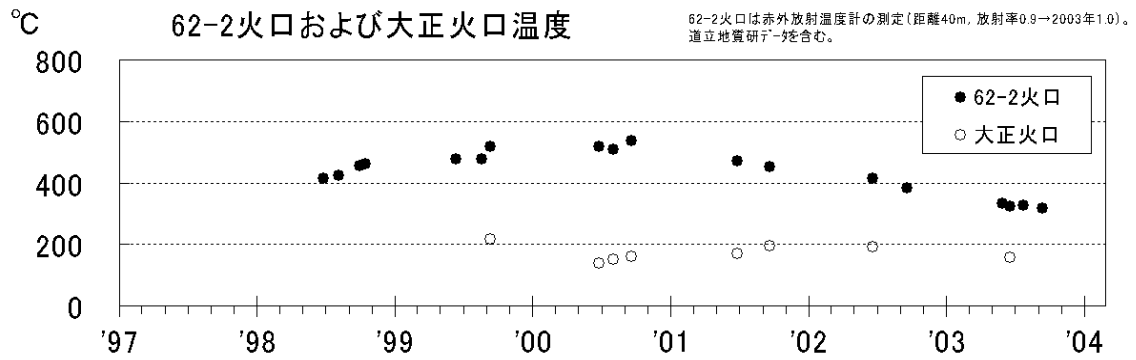


図3 最近の火山活動経過

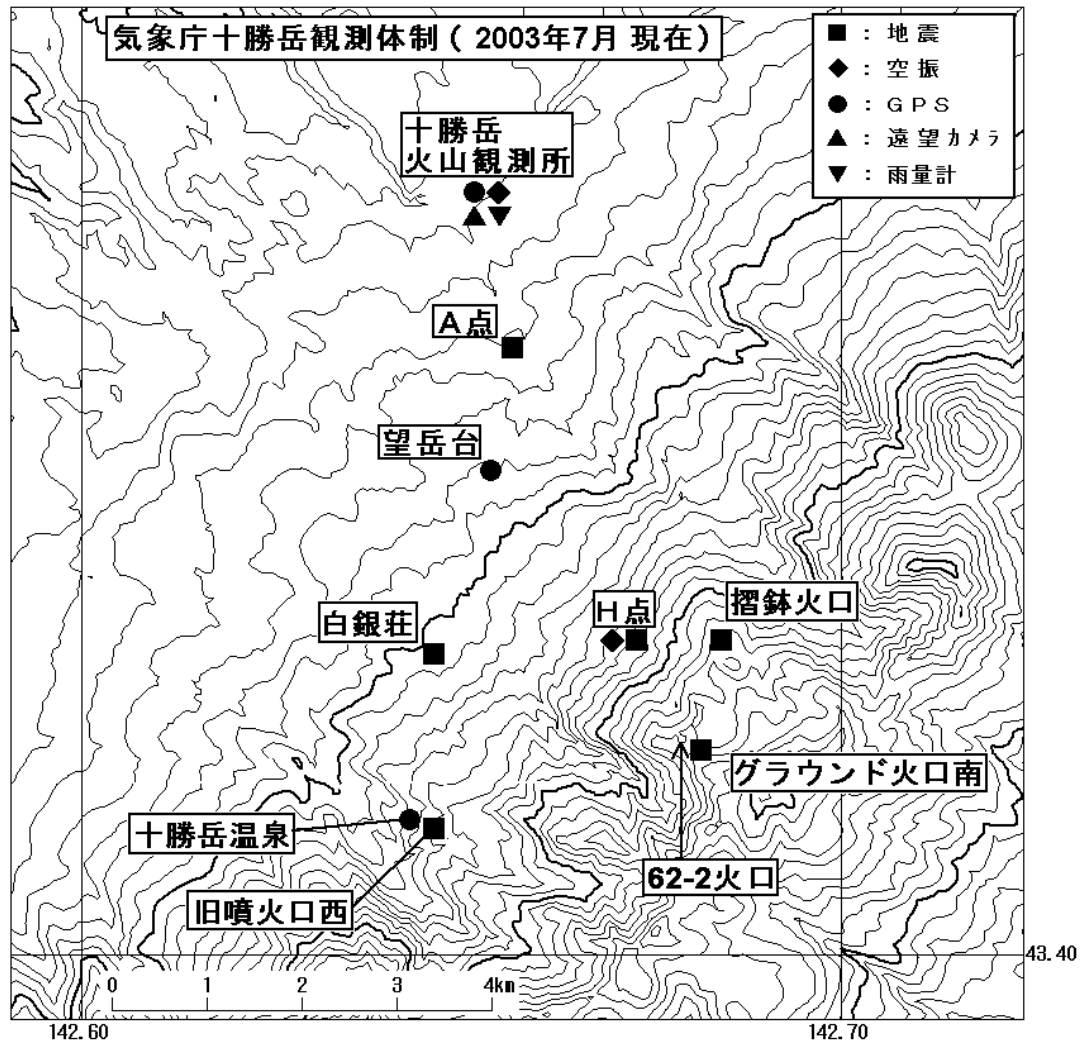


図 4 十勝岳の火山観測点配置

表 4 十勝岳の火山観測点一覧表

記号	測器種類	地点名	位置			設置高 (m)	観測開始年月
			緯度(度分)	経度(度分)	標高(m)		
■	地震計	A点	43 27.5	142 39.4	763	0	1977 年 10 月
		H点	43 25.8	142 40.4	1355	-2	1997 年 1 月
		摺鉢火口	43 25.8	142 41.1	1685	0	2003 年 7 月
		グラウンド火口南	43 25.2	142 40.9	1802	0	2003 年 7 月
		白銀荘	43 25.7	142 38.8	1017	0	2003 年 7 月
		旧噴火口西	43 24.6	142 39.1	1285	0	2003 年 7 月
◆	空振計	火山観測所	43 28.4	143 39.2	651	4	1989 年 10 月
		H点	43 25.8	142 40.4	1355	4	1997 年 9 月
▲	遠望カメラ	火山観測所	43 28.4	143 39.2	651	4	1989 年 10 月
●	GPS	火山観測所	43 28.4	143 39.2	651	8	2001 年 9 月
		望岳台	43 26.8	142 39.2	924	4	2001 年 9 月
		十勝岳温泉	43 24.7	142 38.8	1369	4	2001 年 9 月

（位置は日本測地系の値です）